



TANAKA ENGINEERING CORPORATION

株式会社 田中工務店

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月~2024年9月)



環境省
エコアクション21
認証番号0009960



発行日:2024年10月 1日

改定日:2025年 2月13日

株式会社田中工務店は、昭和58年の設立以来、建設工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。

全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社田中工務店は、日本の風土と建築物の共存を目指し、様々な事業内容において、定期的に課題とチャンスを確認し、環境に配慮した施工方法、電気・水道等のエネルギー消費を出来る限り抑えた活動を推進し、リサイクルに努め、環境に配慮した建設会社としてエコ社会に貢献します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する。
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進する。
4. 建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水使用量の削減を推進する。
6. 環境に配慮した施工方法を取り入れる。
7. 化学物質の適正管理を推進する。
8. 本方針を全従業員に周知し、環境保全に関する意識を高め、継続的改善を進めると共に社外に公表します。

制定日：2013年 3月 31日
改定日：2020年 10月 14日

代表取締役社長 田中 政教

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 田中工務店
代表取締役 田中 政教

(2) 所在地

本 社 : 〒669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原188番地
本社工場 : 〒669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原219番地
丹波営業所 : 〒669-4141 兵庫県丹波市春日町黒井759-3

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 : 土木部 田中 浩 TEL:079-672-2619
担当者 : 事務部 中井 和成 TEL:079-672-2619
E-Mail : nakai@tanaka-net.jp

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
造園工事業、森林整備業、宅地建物取引業

許可番号 兵庫県 第600622号 許可年月日 令和2年12月28日
許可期限 令和7年12月27日
産業廃棄物収集運搬業（積替え・保管を含まない）
許可番号 第02807195833号 許可年月日 令和4年7月25日
許可期限 令和9年7月24日

(5) 事業の規模

設 立 年 月 日 : 昭和58年10月1日
資 本 金 : 2千万円
売 上 高 : 487百万円（2023年度実績）

各事業所の規模

	本社	営業所	本社工場	合計
		丹波営業所		
従業員	14名	1名	9名	24名
延床面積	240m ²	38m ²	817m ²	1,095m ²

※工場は、常時作業員がいる状況でないため無人の場合有り。

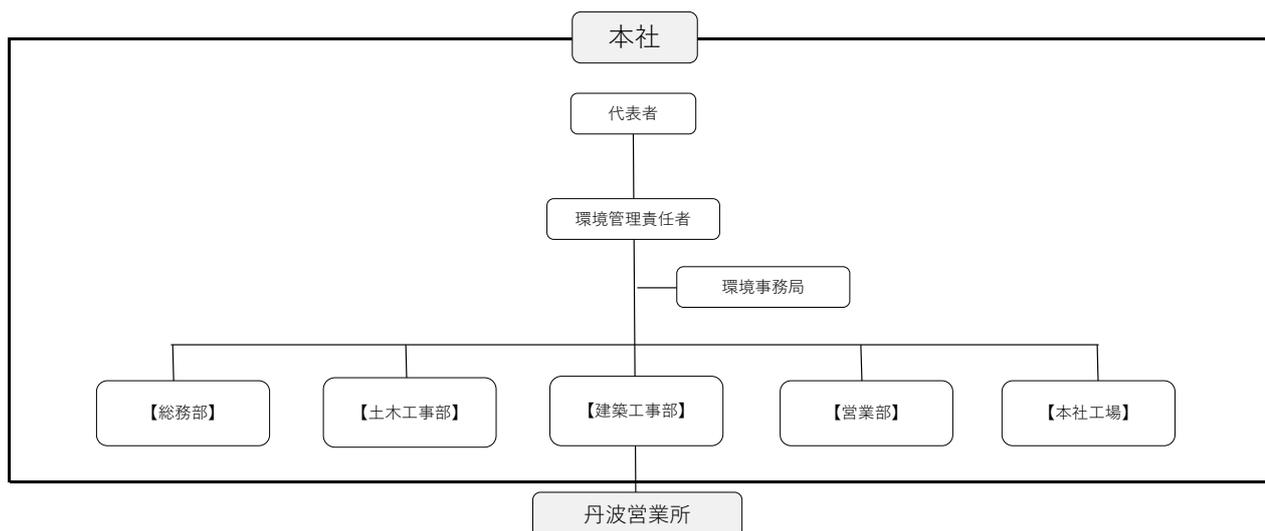
(6) 事業年度

10月1日～9月30日

□認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社田中工務店
対象事業所 : 本社、本社工場、丹波営業所
事業活動 : 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、
舗装工事業、造園工事業、森林整備業、宅地建物取引業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 代表者による経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、
専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 部門長、全従業員に対する「環境教育の実施管理」
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施、環境管理責任者への報告 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知
土木工務部	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
建築工務部	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
営業部	<ul style="list-style-type: none"> 特定された項目の運用管理
本社工場	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成
丹波営業所	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場における環境経営システムの実施 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施
現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場での問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

(※環境負荷自己チェックより 前々年度～今年度)

項目	使用量・排出量			単位	二酸化炭素排出量		
	2021年度	2022年度	2023年度		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量合計				kg-CO ₂	172,441	156,761	158,643
電力(kWh)	39,858	37,422	33,088	kg-CO ₂	12,675	11,900	10,522
ガソリン(L)	28,994	26,977	25,853	kg-CO ₂	67,315	62,632	60,022
灯油(L)	597	924	968	kg-CO ₂	1,488	2,303	2,411
軽油(L)	32,357	27,176	30,299	kg-CO ₂	84,916	71,319	79,516
L P G (kg)	2,015	2,868	2,056	kg-CO ₂	6,047	8,608	6,172
水使用量(m ³)	177	150	212				
化学物質使用量(kg)	95	57	38				
廃棄物排出量(t)	265	949	68				
一般廃棄物(t)	3.2	5.0	1.7				
産業廃棄物(t)	261.9	944.1	66.3				

□環境経営目標及びその実績

(1) 新中長期環境経営目標

目標の理由：目標を立てる事により、1人1人が心掛け、二酸化炭素削減に取り組み、達成を目指す。

項目	年度			
	2022年度 (基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準	156,761 △1%	155,193 △2%	153,626 △3%
電力 (事務所・現場) 使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	37,422 11,900 △1%	37,048 11,781 △2%	36,674 11,662 △3%
ガソリン (事務所・現場) 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	26,977 62,632 △1%	26,707 62,006 △2%	26,437 61,379 △3%
灯油 (事務所・現場) 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	924 2,303 △1%	915 2,280 △2%	906 2,257 △3%
軽油 (現場) 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	27,176 71,319 △1%	26,904 70,606 △2%	26,632 69,893 △3%
L P G (本社・現場) 使用量削減	kg kg-CO ₂ 対基準	2,868 8,608 △1%	2,839 8,522 △2%	2,811 8,436 △3%
廃棄物 排出量合計	t 対基準	951.2 △1%	941.7 △2%	932.2 △3%
一般廃棄物 排出量削減	t 対基準	6.1 △1%	6.0 △2%	5.9 △3%
産業廃棄物 排出量削減	t 対基準	945.1 △1%	935.6 △2%	926.2 △3%
建設リサイクル率の 向上	% 対基準	100% +0.7%	101% +1.7%	102% +2.7%
環境に配慮した 施工方法の採り入れ	件 対基準	1 +1	2 +2	3 +3
水(事務所・その他)の 適正管理	- 対基準	適正管理 (150m ³)	適正管理	適正管理
化学物質の 適正管理	- 対基準	適正管理 (57L)	適正管理	適正管理

注1) 電力の二酸化炭素排出量への調整後排出係数は、2023年度関西電力(欄公表)の、0.434kg-CO₂/kWhを使用。

注2) 中長期目標は、2022年度を基準年度として目標再設定した。

※水適正管理：毎年度の使用量が少なく増減がほぼ無い為、数値目標を設定しない。

(水道・下水道 各200m³以下)

※化学物質適正管理：ほう酸塩が成分のほう素化合物「エコボロン」。

シロアリ・木材腐朽菌に有効で、必要量のみ都度購入している。

(2) 2023年度の実績

評価欄 ○：達成、×：未達成

項目	年度	2022年度 基準年度	2023年度 (10月1日～9月30日)			
			目標	実績	達成度	評価
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	156,761	155,193	158,643	97.8%	×
	対基準		-1%	+1.2%		
電力 (事務所・現場) 使用量削減	kWh	37,422	37,048	33,088	112.0%	○
	kg-CO ₂	11,900	11,781	10,522		
ガソリン (事務所・現場) 使用量削減	L	26,977	26,707	25,853	103.3%	○
	kg-CO ₂	62,631	62,005	60,022		
灯油 (本社・現場) 使用量削減	L	924	915	968	94.5%	×
	kg-CO ₂	2,303	2,280	2,411		
軽油 (現場) 使用量削減	L	27,176	26,904	30,299	88.8%	×
	kg-CO ₂	71,319	70,606	79,516		
LPG (事務所・現場) 使用量削減	kg	2,868	2,839	2,056	138.1%	○
	kg-CO ₂	8,608	8,522	6,172		
廃棄物 排出量合計	t	951.2	941.7	68.0	1385.9%	○
	対基準		-1%	-92.9%		
一般廃棄物 排出量削減	t	6.1	6.0	1.7	366.0%	○
	対基準		-1%	-73.0%		
産業廃棄物 排出量削減	t	945.1	935.6	66.3	1411.2%	○
	対基準		-1%	-93.0%		
建設リサイクル率の 向上	%	100.0%	100%	100%	100%	○
	対基準		±0.0%	±0.0%		
環境に配慮した 施工方法の採り入れ	件	1	2	1	50.0%	×
	対基準		+1	-		
水(事務所・その他)の 適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	取組良好	○
	-	(150㎡)	-	-		
化学物質の 適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	取組良好	○
	-	(57L)	-	-		

※各目標の達成・未達成：工事内容や現場場所により、基準年度と今年度に差が出ます。

※達成度の計算式：削減目標の場合は、目標/実績×100%。向上目標(環境に配慮した施工方法の採り入れ)の場合は、実績/目標×100%。

※実績対基準の計算式：((実績/基準)-1)×100%

※建設リサイクル率の2023年度実績(産業廃棄物のみ) = 再資源化量(66.3 t) / 総排出量(66.3 t)

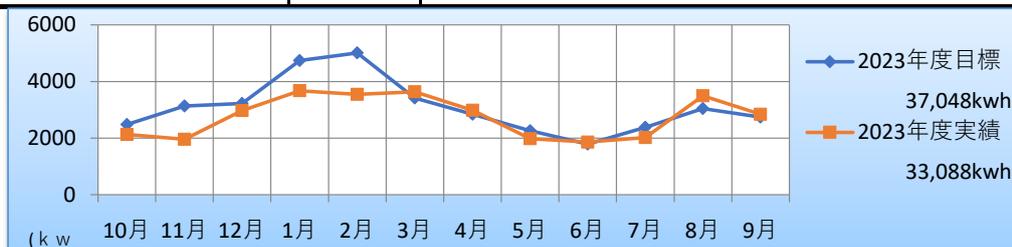
□環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

■二酸化炭素排出量の削減■

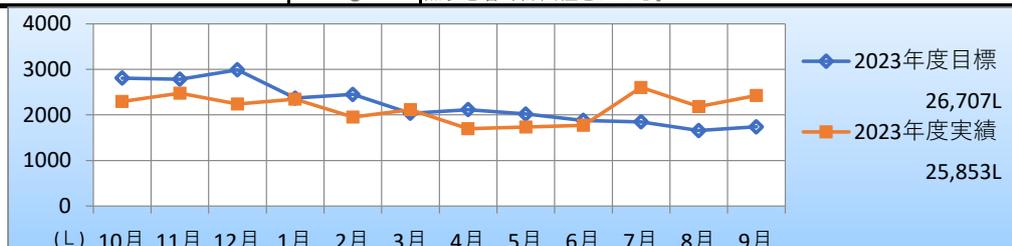
電力使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	◎	過度の冷暖房に頼らず、服装で調整する。
・不要照明の消灯	◎	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空転禁止	○	昼休み等の長時間はもちろん、こまめに入・切の操作をする。

大幅達成・未達成理由：
-



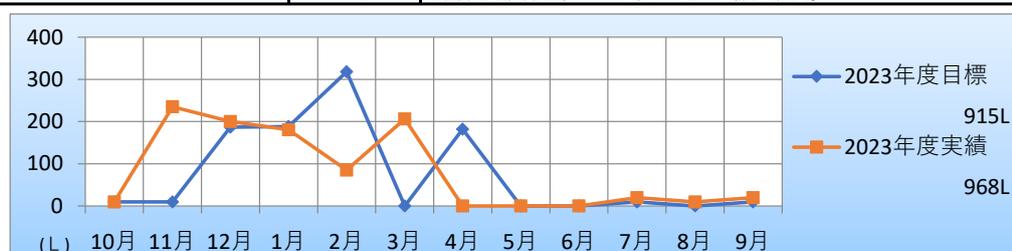
ガソリン使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転を心がける。
・効率的な移動	○	無駄を省く計画性をたてる。

大幅達成・未達成理由：
-



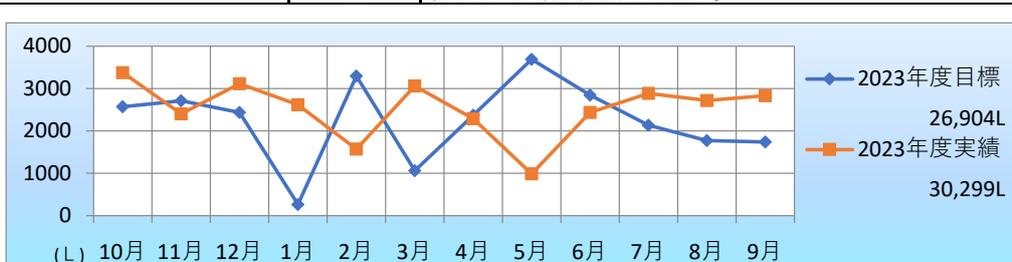
灯油使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・ストーブの使用基準の作成	○	不在時の消火の管理を徹底する。
・室温管理 (20℃を基準)	○	更に省エネ意識を持たせ、無駄な使用を無くしていく。
・部屋開放の禁止	△	外出する場合は、ドアを閉める事を徹底する。

大幅達成・未達成理由：
冬季工事現場でのストーブの使用が多かったため。



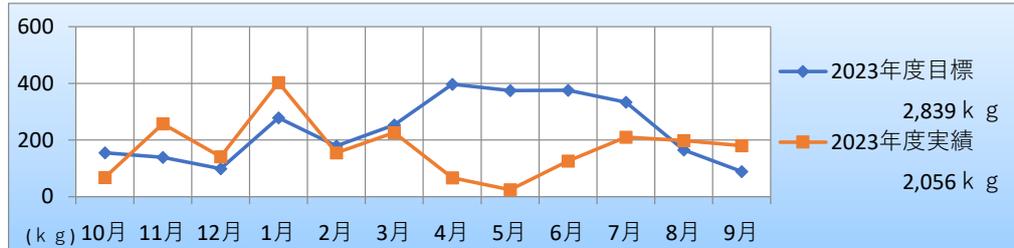
軽油使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転を心がける。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性をたてる。

大幅達成・未達成理由：
遠方での工事の増加



L P G使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・効率的な使用を心がける	○	作業工程を効率的に行い不使用时には早めに消火する。

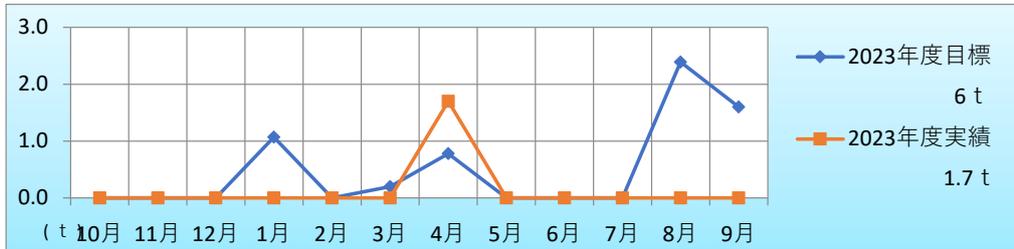
大幅達成・未達成理由：
-



■ 廃棄物排出量の削減 ■

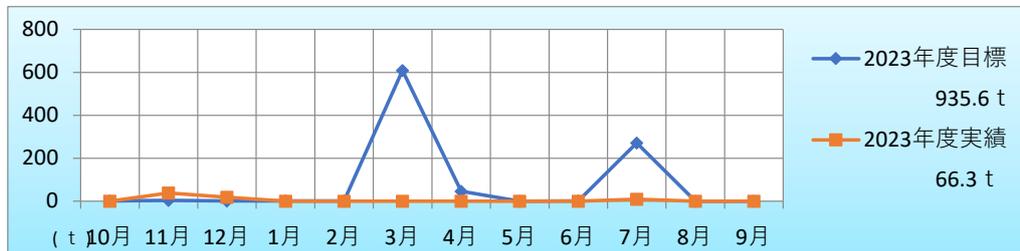
一般廃棄物の削減	達成状況	次年度の取組内容
・カタログ類を少なくする	○	カタログ類の請求を出来る限りネット利用に変更する。

大幅達成・未達成理由：
-



産業廃棄物の削減	達成状況	次年度の取組内容
・分別解体徹底	○	分別解体の徹底。
・来年度以降の目標設定	○	正確な排出量を把握しながら、削減に努める。

目標達成結果：
-



建設リサイクルの向上	達成状況	次年度の取組内容
・建設リサイクル率&化学物質の適正管理	○	前年度を基準値として、向上目標を設定して下記の取組を推進してリサイクル率の向上を図る。
・木くず・段ボール等リサイクルを推進する。	○	木くずはチップ・肥料等又、段ボールなどもリサイクル業者へ納入する。
・コンクリート殻、アスファルト殻等リサイクルを推進する。	○	リサイクル業者にすべて搬出する。

■ 環境に配慮した施工方法の取入れ(SDG s の取組) ■

環境に配慮した施工方法の取入れ	達成状況	次年度の取組内容
・工事分野別の技術	○	工法の見直しによって件数が減少した。
・ノウハウの収集	○	今後は新しい工法の確定を進める。

■ 水道水の適正管理 ■

水道水の適正管理	達成状況	次年度の取組内容
・洗車時、不必要な水の垂れ流し禁止	○	数値目標は大幅未達成となったが、原因は10月・11月に水漏れが発生したため。今後も適正量の使用に務める。
・洗い物は時間を決めてまとめて洗う	○	

■ 化学物質の適正管理 ■

化学物質の適正管理	達成状況	次年度の取組内容
・SDS、取説に準拠して防蟻剤の適正管理実施	○	適正量の使用
	○	保管管理
	○	環境への拡散防止等により適正管理

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守する事項	評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
騒音規制法 朝来市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法 朝来市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建築基準法	シックハウス対策、クロルピリホスの使用禁止、石綿使用禁止	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用点検整備、適正燃料使用	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備、	遵守
フロン排出抑制法	設置環境・使用環境の維持保全、定期点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は3年間遵守されていることを確認しました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度の二酸化炭素排出量が2022年度に比べて増加している原因は、軽油以外の項目については横這い、または減少しているものの、軽油の使用量の増加が突出していることが原因と見られます。

これは2023年度中の舗装工事の工事場所が2ヶ月程度遠方であったことによります。工事高の増加を目指す上でやむを得ないことではありますが、今後には近隣での工事受注を図れるよう指示をしているところです。

なお、環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更はしません。

2025年1月10日
株式会社田中工務店
代表取締役 田中 政教

□環境活動の紹介(環境配慮の施工)



蓄熱暖房



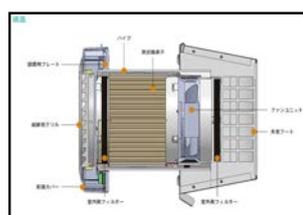
高気密高断熱仕様



公園の景観に配慮口



太陽光発電



ダクトレス第一種熱交換式換気システム(室内空気環境改善)

<SDGs活動関連項目>

⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・森林整備
⑪住み続けられるまちづくりを	・プロジェクター使用の会議
⑫つくる責任 つかう責任	・スカイプ
⑬気候変動に具体的な対策を	・スーパーウォール(ヒート20G1)勉強会
⑮陸の豊かさを守ろう	・コンポスト
	・木枝落葉を防草チップ化